

種のプロフィール

動物編

推進種

積極的に繁殖・導入を推進する種



種のプロフィール

1 種名

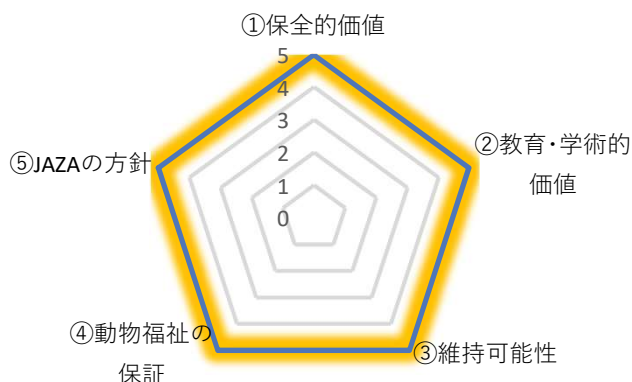
チンパンジー

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

25点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

40園館220頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

5頭(オス2, メス3)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

IUCNレッドリストでEN(危機)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

生息地域における環境問題を来園者に提起したり、遺伝的にヒトに近くその行動や学習能力などを大学などと調査研究を行うなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

昨年度、園内での繁殖に成功し、今後も繁殖が期待できる。さらに、他園館から個体を入手することで長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

十分な広さの屋内及び屋外展示場は、立体的に移動できる構造を有する。特に屋外展示場は植栽も豊かであり、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持し保全に貢献していく。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信するとともに、大学等と連携して行動についての研究を実施していく。

種のプロフィール

1 種名

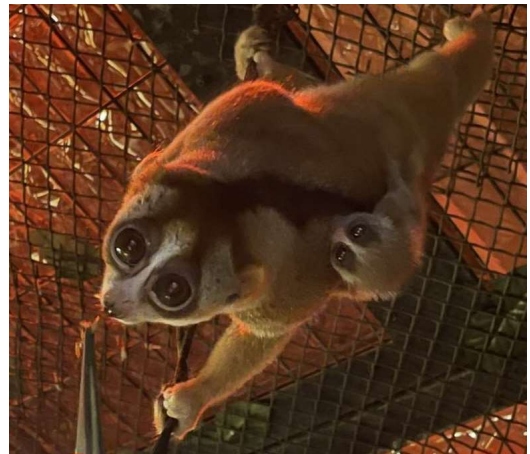
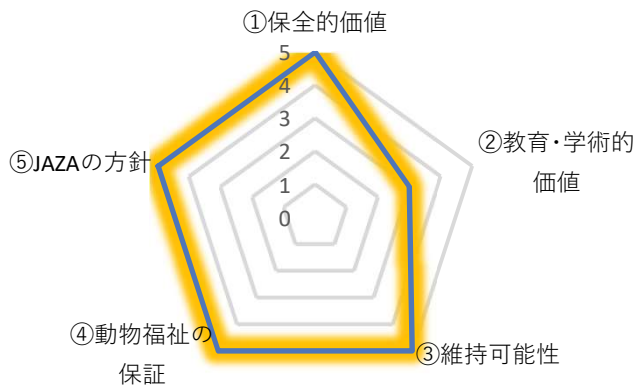
スンダスローロリス

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

23点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

7園館27頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

4頭(オス1, メス3)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

IUCNレッドリストでEN(危機)に指定されているため。

②教育・学術的価値 3点

生息地域における環境問題や、ペット目的の乱獲による数の減少について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

昨年度、園内での繁殖に成功し、今後も繁殖が期待できる。さらに、他園館から個体を入手することで長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切な温度湿度管理をするとともに、生きたコオロギを給餌するなど、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持し保全に貢献していく。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

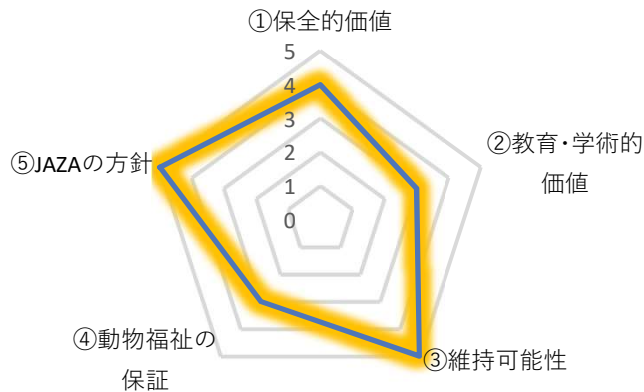
マンドリル

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

20点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

21園館55頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 4点

IUCNレッドリストでVU(危急)に指定されているため。

②教育・学術的価値 3点

生息地域における環境問題による数の減少について来園者に提起したり、雌雄による体のつくりを比較するなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

サバンナエリア整備計画に基づく獣舎の新設により、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

獣舎を整備し導入態勢を整える。導入後は園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

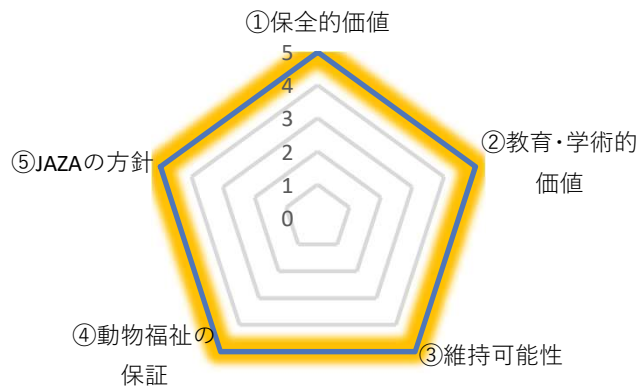
シセンレッサーパンダ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

25点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

52園館224頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

3頭(オス1, メス2)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

IUCNレッドリストでEN(危機)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

生息地域における環境問題や、ペット目的の乱獲による数の減少について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

本年、園内での繁殖に成功し、今後も繁殖が期待できる。さらに、他園館から個体を手入することで長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

十分な広さの屋内及び屋外展示場は、立体的に移動できる構造を有する。特に屋外展示場は植栽も豊かであり、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持し保全に貢献していく。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

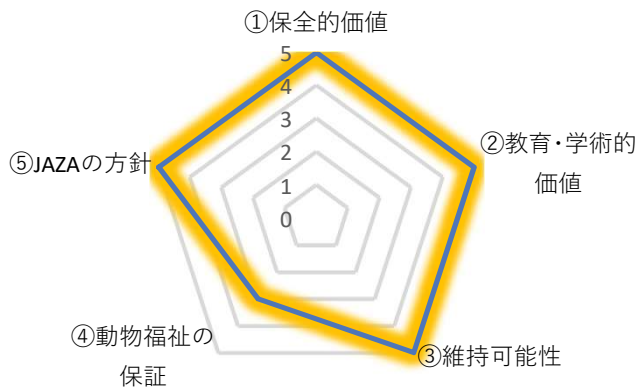
クロサイ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

23点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

11園館22頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

2頭(オス1, メス1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

IUCNレッドリストでCR(深刻な危機)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

生息地域における環境問題や、密猟による数の減少について来園者に提起したりなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

当園で飼育しているオスは22才、メスは14才であり、園内あるいは、他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

施設の改修や取扱い改善等により、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持し保全に貢献していく。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信するとともに、大学等と連携して行動についての研究を実施していく。

種のプロフィール

1 種名

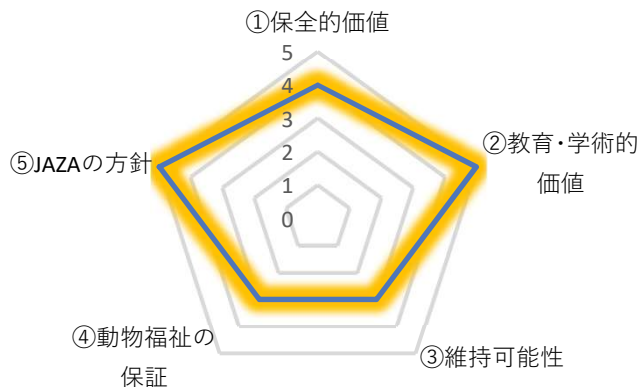
マサイキリン

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

20点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

3園館8頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

2頭(オス1, メス1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 4点

IUCNレッドリストでVU(危急)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

生息地域における環境問題を来園者に提起したり、その行動について大学などと調査研究を行うなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 3点

飼育をしている園館が少なく、国内の状況が、維持に影響するため。

④動物福祉の保証 3点

サバンナエリア整備計画に基づく獣舎の新設により、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持し保全に貢献していく。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信するとともに、大学等と連携して行動についての研究を実施していく。

種のプロフィール

1 種名

シロオリックス

2 コレクションプランの分類

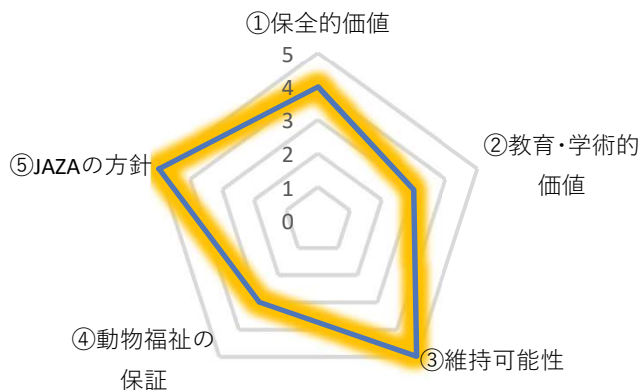
推進種

3 スコアリング結果

20点/25点



写真提供:岩手サファリパーク



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

12園館87頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

—

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 4点

IUCNレッドリストでEW(野生絶滅)に指定されているため。

②教育・学術的価値 3点

生息地域における環境問題や、角や食肉を目的とした乱獲により野生絶滅種となったことを来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

サバンナエリア整備計画に基づく獣舎の新設により、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

獣舎を整備し導入態勢を整える。導入後は園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

ハダカデバネズミ

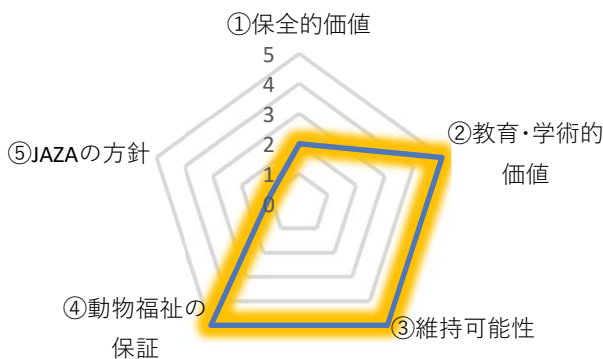
2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

18点/25点

(大学との共同研究により学術的価値が非常に高いため推進種に区分)



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

7園館275頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

11頭(オス7, メス2, 不明2)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 2点

IUCNレッドリストでLC(低懸念)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

熊本大学との提供契約により導入され、哺乳類では珍しい真社会性と呼ばれる分業制の社会を形成するだけでなく、寿命は30年以上で老化耐性やガン化耐性について熊本大学で研究されているなど、学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

飼育しているコロニーは2才の女王ネズミと3才の王ネズミ、1才未満の9頭のワーカーといった若く、コロニー内での繁殖が可能であり、長期的に維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられている。環境エンリッチメントも施されており、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 1点

JCPカテゴリーの何れにも指定されていないため。

5 今後の方針

園内で繁殖し個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信するとともに、大学等と連携して調査研究の内容を発信していく。

種のプロフィール

1 種名

ダマラランドデバネズミ

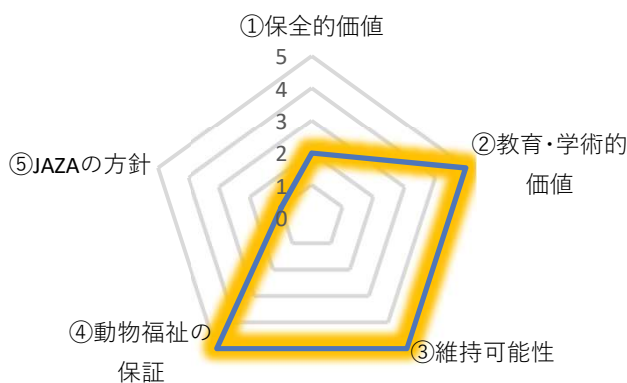
2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

18点/25点

(大学との共同研究により学術的価値が非常に高いため推進種に区分)



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

1園館4頭(熊本市動植物園のみ)

園内飼育状況(2023年10月末時点)

4頭(オス1、メス3)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 2点

IUCNレッドリストでLC(低懸念)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

熊本大学との提供契約により導入され、哺乳類では珍しい真社会性と呼ばれる分業制の社会を形成するだけでなく、寿命は20年以上で老化耐性やガン化耐性について熊本大学で研究されているなど、学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

飼育しているコロニーは10才の女王ネズミと8才の王ネズミ、3才の2頭のワーカーと若く、園内での繁殖及び他所からの入手により長期的に維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられている。環境エンリッチメントも施されており、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 1点

JCPカテゴリーの何れにも指定されていないため。

5 今後の方針

園内で繁殖し個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信するとともに、大学等と連携して調査研究の内容を発信していく。

種のプロフィール

1 種名

アマミトゲネズミ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

21点/25点

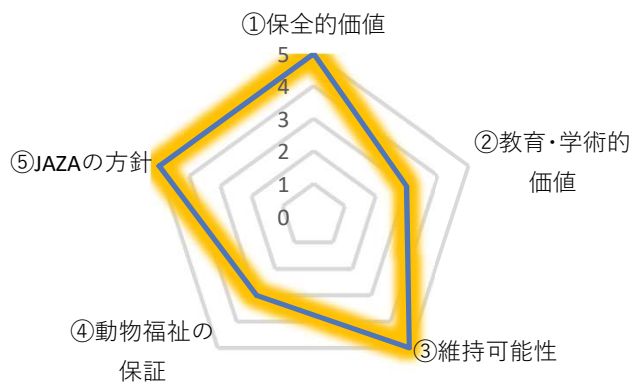


出典: 環境省HP
(<https://kyushu.env.go.jp/okinawa/awcc/animal.html>)

JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

7園館70頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)



4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でEN(絶滅危惧 I B類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 3点

生息地域における環境問題や、外来生物(マングースやノネコ)の影響による数の減少について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

今後の施設改修等によりJAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

獣舎を整備し導入態勢を整える。導入後は園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

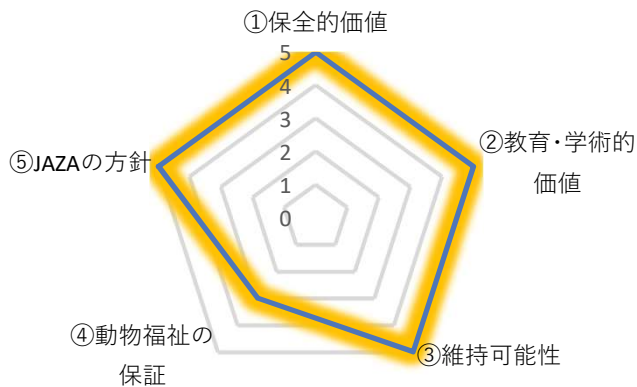
ニホンイヌワシ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

23点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

6園館37頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

2頭(オス1, メス1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でEN(絶滅危惧 I B類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

国内希少野生動植物種及び国の天然記念物に指定されている。また、生息地域における環境問題等について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

当園で飼育しているオスは8才、メスは2才と若い個体であり、園内での繁殖及び他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

現在、獣舎を改修中であり、今後、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

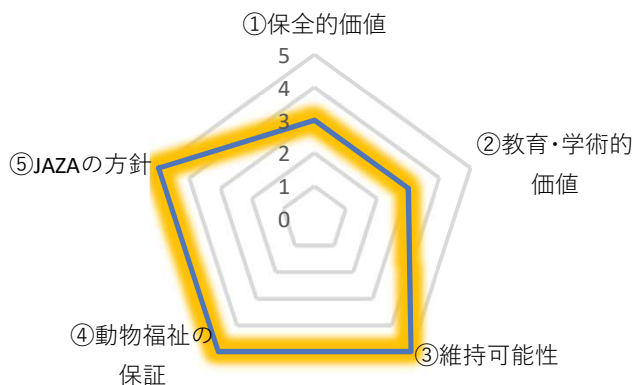
オウギバト

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

21点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

11園館51頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

6頭(オス3, メス2, 不明1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 3点

IUCNレッドリストでNT(準絶滅危惧)に指定されているため。

②教育・学術的価値 3点

ハト類では最大の種である。生息地域における環境問題や、乱獲による数の減少について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

一昨年度、園内での繁殖に成功し今後も繁殖が期待でき、他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

十分な広さの屋内展示場は植栽豊かで立体的に移動できる構造を有し、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

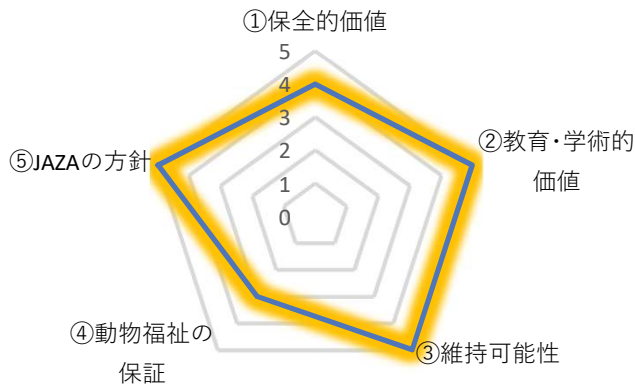
タンチョウ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

22点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

42園館171頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

2頭(オス1, メス1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 4点

環境省レッドリスト2020でVU(絶滅危惧Ⅱ類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

国内希少野生動植物種及び特別天然記念物に指定されている。生息地域における環境問題等について来園者に提起するなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

当園で飼育しているオスは20才、メスは16才と若い個体で、園内での繁殖及び他園館からの個体入手により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

現在、獣舎を改修中であり、今後、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

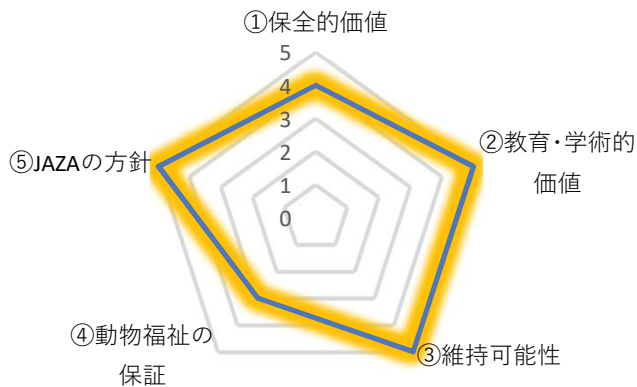
マナヅル

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

22点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

19園館33頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

1頭(オス1)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 4点

環境省レッドリスト2020でVU(絶滅危惧Ⅱ類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

世界の生息数(6,500羽)のうち約4割が鹿児島県出水市で越冬し、その越冬地はラムサール条約湿地に登録されている。また越冬地では農作物食害などの課題もあり、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

当園で飼育している個体は、令和2年に幼鳥の状態を導入した若い個体で、他園館から雌個体を入手することで繁殖が期待でき、長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 3点

現在、獣舎を改修中であり、今後、JAZAの動物福祉基準に達することが見込まれるため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

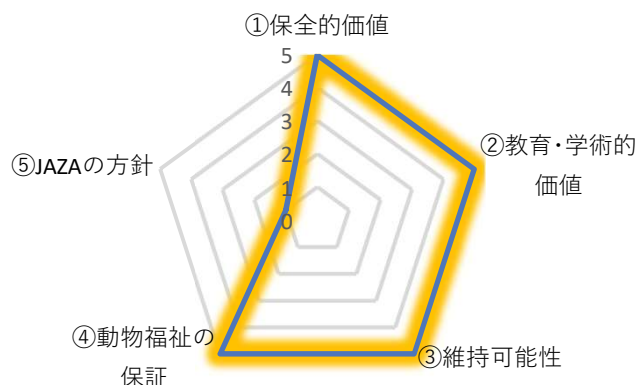
トサシミズサンショウウオ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

21点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

3園館268頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

4頭(不明4)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でCR(絶滅危惧 I A類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

国内希少野生動植物種に指定されている。1972年に発見され、当初は九州に生息する『オオイタサンショウウオ』と考えられていたが、研究や調査に基づき、2018年に別種として新種認定された等、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

他園館では繁殖に成功しており、それらの園館からの個体入手及び当園での繁殖により長期的に個体群を維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられている。環境エンリッチメントも施されており、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 1点

JCPカテゴリーの何れにも指定されていないため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

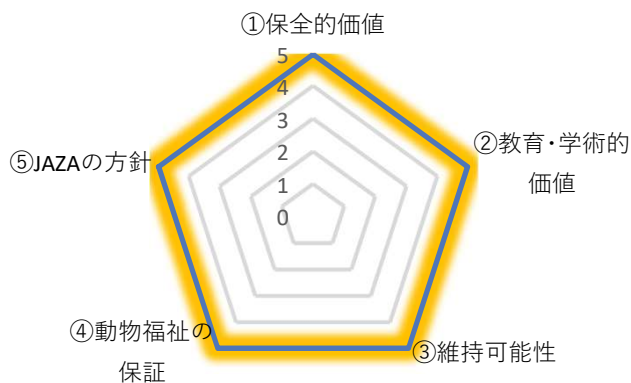
ミヤコカナヘビ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

25点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

7園館424頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

20頭(不明20)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でCR(絶滅危惧 I A類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

生息地域における環境問題や、ペット目的の乱獲による数の減少について来園者に提起したりなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

2023年生まれを10頭、2022年生まれを10頭飼育し今後の繁殖が期待でき、園内での繁殖及び他園館からの入手により維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられている。環境エンリッチメントも施されており、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、ニホンカナヘビやニホントカゲと比較展示したり、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

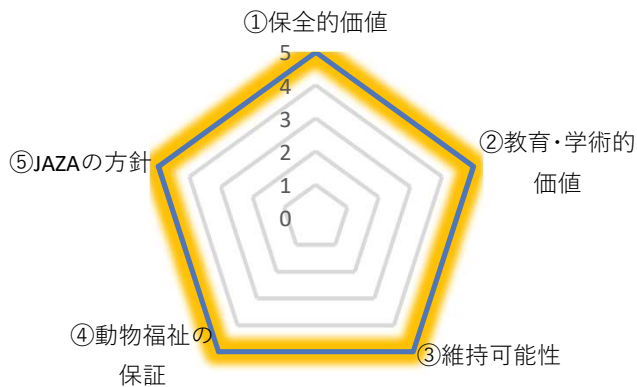
ニッポンバラタナゴ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

25点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

11園館721頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

23頭(不明3)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でCR(絶滅危惧 I A類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

外来のタイリクバラタナゴとの交雑が進み、国内での絶滅が危惧され環境省レッドリスト2020において、CR(絶滅危惧IA類)に指定されているなど、教育・学術的な価値が非常に高いため。

③維持可能性 5点

園内での繁殖及び他園館からの入手により維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられ、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 5点

JCPカテゴリーで、管理種に指定されているため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、他のタナゴ類と比較展示したり、生態について来園者に発信していく。

種のプロフィール

1 種名

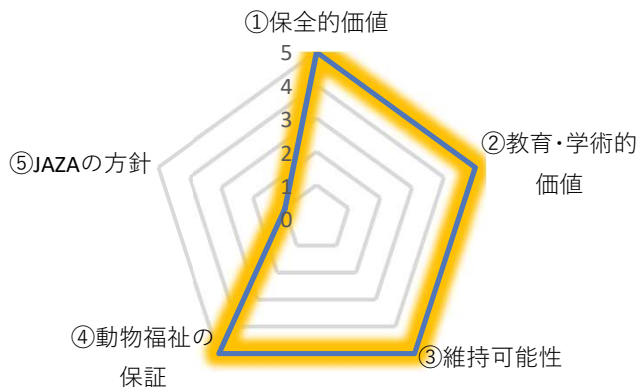
セボシタビラ

2 コレクションプランの分類

推進種

3 スコアリング結果

21点/25点



JAZA加盟園館飼育状況(2023年10月末時点)

2園館179頭

園内飼育状況(2023年10月末時点)

7頭(不明)

4 各指標のスコアリング結果の理由

①保全的価値 5点

環境省レッドリスト2020でCR(絶滅危惧 I A類)に指定されているため。

②教育・学術的価値 5点

国内での絶滅が危惧され環境省レッドリスト2020において、CR(絶滅危惧IA類)に指定されているなど、教育・学術的な価値が高いため。

③維持可能性 5点

園内での繁殖及び他園館からの入手により維持できるため。

④動物福祉の保証 5点

適切なスペースの飼育場が、適切に温度・湿度管理をした屋内に設けられ、JAZAの動物福祉基準に達しているため。

⑤ JAZAの方針 1点

JCPカテゴリーの何れにも指定されていないため。

5 今後の方針

園内での繁殖、必要に応じて他園館からの新規個体を導入し、個体群を維持する。自然環境教育の一環として、他のタナゴ類と比較展示したり、生態について来園者に発信していく。